

に対応した番号を付ける。英語の所属等は **headline capitalization** とする。

2.4 英文要旨

要旨は、本文が日本語の場合は 9～10 ポイントの英語で 200words 以内で記述する。

2.5. キーワード

キーワードは日本語、英語の順で、最大 6 つまでを 9～10 ポイントで中央揃え、それぞれをセミコロンで区切る。英語のキーワードは **sentence capitalization** とし、ピリオドで終わる。

題目と著者名の間、著者名と職位等の間、職位等と概要の間および概要とキーワードの間は 1 行あける。

3. 本文

キーワードの下に 2 行あけて本文を記す。本文は 2 段組で、1 段の幅は 82mm、段組の間は 6mm とし、1 段にはなるべく 25 字×48 行（文字の大きさ 9 ポイント相当）入るように設定する。寸法内であれば、文字数で 1 文字、行数で 1 行程度の差があってもよい。1 ページ目については、題目等が入るので本文の行数は各自調整すること。本文の各段落の頭は、必ず字下げ（1 文字）する。

4. 図表について

4.1. 図について

本文と図の間は 1 行空け、図は中央揃えにする。図幅は段の幅 82mm 以内または 2 段分の 170mm 以内。図の次行には図番および図題を設け、図番および図題の下は 1 行空ける(図 1)。

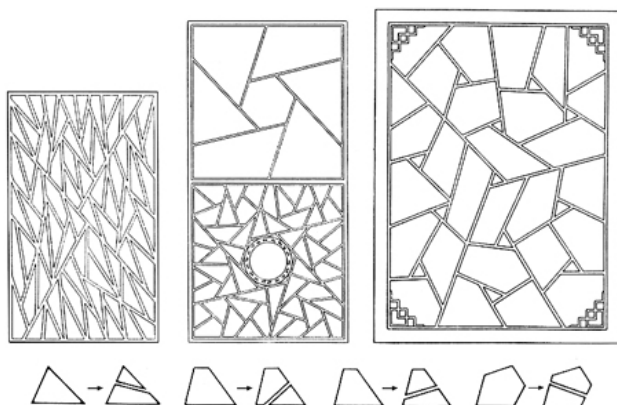


図 1 図題は図の下に

4.2. 表について

本文との間に 1 行空け、表の前行に表番および表題を設ける。表の幅は、段の幅 82 mm以内または 2 段分の 170mm 以内とし、表の下は 1 行空ける（表 1）。

表 1 表題は表の上に

Please use Times New Roman font with a size of 8 points	Please use Times New Roman font with a size of 8 points

5. 参考文献

6 ページ目の最後には、区切り罫線の後に参考文献を 8 ポイント、行間 11 ポイントで記す。参考文献は本文中で必ず参照¹⁾²⁾³⁾すること。Chat GPT 等大規模言語モデル (LLM) 使用による文章掲載の場合は、“引用”⁴⁾として明記すること。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5
2
3
4
5
6
7
8
9
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
1
2
3
4
5
6
7
8

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5
2
3
4
5
6
7
8
9
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
1
2
3
4
5
6

[参考文献]

- 1) Alias Abdullah、位寄和久、両角光男：AHP を用いた GIS によるレクリエーション土地利用計画：阿蘇地域における土地利用計画に関する研究、日本建築学会計画系論文集、59 巻、463 号、pp.213-222、1994、DOI: https://doi.org/10.3130/aija.59.213_2
- 2) 佐藤俊作、福島泰明、藪内彰夫：原子力発電所の構造設計における詳細解析例とその問題点、日本建築学会・情報システム技術委員会第 12 回情報・システム・利用・技術シンポジウム、pp.7-12、1989
- 3) 日本建築学会編：建築・都市・環境デザインのためのモデリングと最適化技術、日本建築学会、2015
- 4) Chat GPT：質問内容（アクセス日：2023.5.10）